

加熱式専用室にSMOKE CLEARを導入 席数減少によるマイナスを超える SMOKE CLEAR導入による売上アップ

ピアーズカフェ等々力店

東京都世田谷区等々力3-5-3

席数：1階31席 2階60席（うち喫煙席24席）

営業時間：平日7時～21時 土日祝7時～20時

■上質なくつろぎの空間がコンセプトのカフェベーカーリー

「ピアーズカフェ等々力店」は、岡山に本社を置き、全国に様々な業態の飲食店 300 店近くを展開するピアサーティーグループの事業会社のひとつ、株式会社ピアサーティー南関東が運営するベーカーリーカフェだ。「上質なくつろぎの空間で、ゆっくり食事とコーヒーを楽しんでいただける店がコンセプトです」と同社取締役社長の小野勝紀氏。

朝は焼きたてパンの他、おにぎりのモーニングセットも用意。パスタなどの食事メニューは終日楽しめ、パン+ドリンク、パスタ+ドリンクなどのお得なメニューもある。

店内は2フロアで、Wi-Fi やコンセントを備えているため、パソコンを開いている人、一人でゆっくりコーヒーを楽しむ人、読書をする人、話に興じる子ども連れや母親グループなど、客層も利用シーンも多彩だ。

■カフェにタバコを吸える環境は必須と判断して導入

喫煙に関しては、2013 年のグランドオープン当初から、2 階の一角に、喫煙しながら飲食できる喫煙室を設置しており、紙巻タバコを吸うお客も多かった。「喫煙席は全席の 3 分の 1 程度でしたが、喫煙席だけ満席ということもありました」（小野氏）。

しかし、2020 年 4 月の改正健康増進法施行以降は、喫煙室は加熱式タバコ専用になり、店内で紙巻タバコは吸えなくなった。

「改正健康増進法のルールをご存知でないお客さまも多く、『何でタバコが吸えなくなかったの?』という質問を受けることもしばしばでした。タバコが吸えないことで、ご来店されなくなった常連のお客さまもいらしたと思います。やはり、コーヒーを楽しむカフェにとって、紙巻タバコを吸える環境は必要なのではないかと思いつつも、改装工事をして設備を整えたと資金もかかる。分煙対策をしている飲食店を視察に行ったこともありますが、これだという設備に出会えず、そのままになっていました」（小野氏）。

そんな中、JT から JT とエルゴジャパンの喫煙ブース「SMOKE CLEAR（スモーククリア）」がコラボレーションした「分煙対策特別キャンペーン」の話があった。

「設置に当たって、席数が決って多い訳ではないので客席を潰すことに若干の躊躇はありましたが、この店はくつろげる店がコンセプトで、お客さまの滞留時間も長い。タバコを吸わない方も吸われる方もくつろげる空間をご提供することの方が重要だと判断。優れた性能もポイントでしたが、工事不要で手軽に設置できる点や、スペースをとらないこと、デザインがこの店になじむことが大きな決め手になりました」（小野氏）。

昨年末に系列のカフェに入れ、次いで今年の 2 月に、「ピアーズカフェ等々力店」に導入した。

同店では、2 階の加熱式タバコ専用喫煙室内の 2 人席 1 卓を潰し、コンパクトサイズでブースの壁がガラスになっている「スマートミニ（ガラス）」を設置。ガラスタイプにしたのは、利用したい喫煙者に、使用中であることが分かるようにという理由からだが、上半分は曇りガラスに変えて、喫煙中に他のお客と視線が合わないよう配慮している。

喫煙できるという告知は控え目だが徐々に認知が広がり、流出していた喫煙客が戻っただけでなく、新規の喫煙客も増え、喫煙室は盛況だ。喫煙室以外の席からの利用客もいる。「実を言うと、喫煙室は風量などを計算して、室内からタバコの煙が漏れない構造になっており、喫煙ブースから煙やニオイが多少漏れても問題ないと思っていたのですが、全く漏れませんし、喫煙した方の髪や衣服にもつきません。性能面も非常に満足しています。また、導入を決めるに当たり、社内的に席を減らすことによるマイナスと喫煙ブース導入によるプラスを試算して売上目標を設定しましたが、現時点で、目標をほぼ達成できています」ということで、小野氏は効果を実感している。

東急電鉄大井町線・等々力駅前に立地する「ピアーズカフェ等々力店」。周辺は自然が残る閑静な住宅街で、観光スポットでもある23区内唯一の渓谷、等々力渓谷も至近距離にある。ドリンクはもちろん、店で焼成するパンやパスタなどの食事、スイーツなども楽しめ、地元住民の憩いの場となっているだけでなく、観光で訪れたお客も立ち寄り、店内はいつも賑わっている。



株式会社ピアサーティー
南関東取締役社長 小野勝紀氏



店舗は等々力駅の目の前で視認性抜群。地元住民の他、幅広い層が様々な動機で来店



上質のくつろぎをコンセプトにした店内は落ち着いた空間で、ゆっくりくつろげる



加熱式タバコ専用喫煙室の扉に貼ったPOPで、紙巻タバコ喫煙ブースがあることを案内



毎日店内で焼き上げるパンに合うよう、コーヒーはローストを深めに行っている



完全分煙を実施していることを、店頭に表示



加熱式タバコ専用の喫煙室内に「スマートミニ（ガラス）」を設置。ガラス面の上半分は曇りガラスに変え、他のお客と視線が合わないよう配慮

導入の決め手

- 工事が不要で設置が簡単。
- コンパクトサイズで、客席減少を最小限に抑えられる。
- くつろぎを重視した店内になじむデザイン性。
- タバコの煙もニオイも漏れない優れた機能。

導入効果

- 紙巻タバコが吸えないことで離れた喫煙客が戻る。
- 紙巻タバコ喫煙客が増え売上がアップ。
- 喫煙者も非喫煙者も居心地がいいクリア分煙の実現。